

第174回福島県新型コロナウイルス感染症対策本部員会議

- 1 日時 令和5年2月16日（木）16:30～16:38
- 2 場所 危機管理センター災害対策本部会議室（ペーパーレス会議）
- 3 議事

(1) 新型コロナウイルス感染者の状況等について

(保健福祉部長)

5ページ、資料1をお願いいたします。

【資料1】

昨日の新規陽性者数は、302人です。

1月17日から30日連続で前の週の同じ曜日を下回っております。

次に、4ページ。

15日現在の療養者の状況です。

確保病床の入院者は、140人です。このうち、重症者が0人となっております。なお、確保病床外に入院している方も含めた入院者数は213人です。

宿泊療養施設入所者数は、69人となっております。

次に、6ページ

人口10万人当たりの1週間の新規陽性者数は、135.45人。

200人を下回り、昨年7月の第7波の拡大初期の水準まで低下しております。

次に、8ページ

確保病床の使用率は、18.3%。

20%を下回り、引き続きレベル1の水準となっております。

次に、11ページ

「重症者用の病床使用率」が、0.0%、

発熱外来患者の状況を示す「一週間の医療機関報告新規陽性者数」が、1,992人となっております。

インフルエンザが流行期に入っていることや「保健医療の負荷の状況」等を総合的に勘案すると、引き続き「レベル2」と考えております。

(2) 新型コロナワクチンの接種状況等について

(病院局長)

13ページ、資料3をお願いします。

【資料3】

2月14日時点の接種実績については記載のとおりになります。

このうちオミクロン株対応ワクチンの接種回数につきましては、累計で、965,780回、全人口に対する接種率は52.5%で、全国における接種率43.1%を9.4ポイント上回っております。

次のページをお願いします。

オミクロン株対応ワクチンの年代別接種率についてであります。

水色の棒グラフが本県であり、全ての年代で全国平均を上回っております。また、本県の50歳代以上の接種率は60%を超えておりますが、一方で40歳代以下では50%に満たない状況になっております。

次のページをお願いします。

ワクチン接種に関する広報についてであります。

若い世代の接種が進んでいない状況を踏まえ、昨日から、ご覧の2種類のバナーを用いて、SNSを活用したワクチン接種に関するデジタル広報を開始いたしました。

加えて、2月18日の土曜日には、地元紙2紙にワクチン接種を呼びかける新聞広告を掲載いたします。

引き続き、ワクチン接種に関する情報をわかりやすく紹介し、接種促進に取り組んでまいります。

(教育長)

学校関係ですが、国から卒業式におけるマスクの取扱いに関する基本的な考え方が示されたことを踏まえ、2月13日(月)、各県立学校に対し、卒業式の教育的意義を考慮し、児童生徒及び教職員については、式典全体を通じてマスクを着用せず出席することを基本とするよう通知いたしました。

なお、児童生徒のマスクの着脱については、学校や教職員が無理強いすることのないようにするとともに、児童生徒の間でもマスクの着用の有無による差別・偏見等がないよう適切に指導することとし、同通知を市町村教育委員会にも参考として送付いたしました。

引き続き、感染対策と学校教育活動の両立に努めてまいります。

(総務部長)

私立学校に対しましても、先日、卒業式におけますマスクの取扱いに関して通知を発出したところであります。

(知事)

はじめに、県民の皆様の命と健康を守るため、感染症対策や医療の現場で献身的に御尽力いただいている医療関係者の皆様に、心から感謝を申し上げます。

また、県民の皆様、事業者の皆様においては、日々の様々な場面において、感染防止対策への御理解、御協力を頂いています。ありがとうございます。

全国の新規陽性者数は、前の週の同じ曜日を下回る日が続き、1万人を下回る日も見られるなど、減少傾向が続いています。

本県でも、1月中旬以降、新規陽性者数は減少傾向にあり、2月に入ってからには千人を下回る日が続いていますが、気を緩めることなく、基本的な感染対策の徹底や、速やかなワクチン接種など、感染対策を続けていくことが重要です。

一方で、インフルエンザの患者数が、全国的に増加しており、定点当たりの患者数が注意報のレベルを超え、更に上昇しています。県内においても、流行開始の目安となる「1」を3年振りに超える状況が続いていますので、引き続き注意が必要です。

感染対策は、新型コロナもインフルエンザも同じです。まずは、症状が出た場合に備えて、検査キットや解熱鎮痛薬などを事前に準備しておくとともに、他の方に感染させてしまう可能性のある期間を把握の上、感染拡大防止に努めてください。

また、基本的な感染対策に加え、症状がある時は外出しない、感染リスクが高い飲食時は、「短時間」で、「大声での会話は控える」など、感染リスクを下げるための取組をお願いします。

2月中旬に入り、花粉症のシーズンを迎えました。くしゃみや鼻水など、花粉症の症状だと思っていたら、実は新型コロナに感染していたということがあるかもしれません。

このため、いつもの花粉症だと決めつけず、普段と異なる行動をした場合などには、新型コロナの感染を疑ってみることが大切です。気になる方は検査をしましょう。

また、花粉症シーズンでも換気は重要です。窓を少しだけ開けて常時換気を行う、レースカーテンや空気清浄機等を活用するなど、花粉の流入を避けながら換気をお願いします。

新型コロナウイルスの新規陽性者数は減少傾向にありますが、御自身と大切な方の命を守るためには、油断することなく基本的な感染対策を徹底していくことが重要です。

引き続き、県民の皆様、事業者の皆様の御理解、御協力をよろしくお願いします。